



大地

258号

1

足寄小学校学校だより

誰もが笑顔になる「おもいやり算」の魔法

足寄町立足寄小学校長 池田圭子

人を笑顔にする算数

寒さが一段と厳しくなり、校庭の木々も寒風に耐える今日この頃です。保護者や地域の皆さまには、新しい年を迎え、三学期も変わらぬ温かいご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、一年の締めくくりとなる3学期、私はあるテレビCMのことを思い出します。それは「おもいやり」をテーマにしたもので、映像の中に「人を笑顔にする算数」という素敵な考え方が登場します。

「+」は 助け合う

「-」は 引き受ける

「×」は 声をかける

そして、

「÷」は 分け合う

それは 人を笑顔にする算数

ほら、やさしいでしょ

(公益社団法人 ACジャパンCM) より

心に響く「算数」の形

以前放映されていたACジャパンのテレビCMをご存知でしょうか。「おもいやり」をテーマにしたその映像の中で、私はある「算数」に出会いました。それは、計算機で導き出すものではなく、人の心を温かくする「おもいやり算」という考え方です。

通常の算数では、記号は計算のために使われますが、この「おもいやり算」では次のような意味を持っています。

「+」(たす) は、助け合う

「-」(ひく) は、引き受ける

「×」(かける) は、声をかける

「÷」(わる) は、分け合う

「ほら、やさしいでしょ」という言葉とともに紹介されるこの算数は、計算の結果として「人を笑顔にする」という答えを導き出します。

きまりのない、自由な優しさ

小学校4年生の算数では、四則計算が混ざった計算式を学習し、「かけ算を優先する」といった計算のきまりを学びます。しかし、「おもいやり算」には優先順位はありません。困っている友達がいたら「助け合い」、大変な仕事は笑顔で「引き受け」、進んで「声をかけ」、喜びや悲しみを「分け合う」。どこから始めても、その結果に間違いはなく、関わる人すべてを笑顔にするのです。どこから実践しても、間違いなどないのです。この算数を使える人は、計算の結果以上に、その心そのものが何より素敵だと感じます。

「おもいやりの花」を咲かせる三学期に

学年末に向けて、子どもたちがこれまでの学習や生活を振り返り、次の学年への希望を膨らませるこの時期、学校やご家庭で以下のことを心がけてみてはいかがでしょうか。

- * ありがたい気持ちを伝える：どんな小さなことにも感謝を言葉にしましょう。
- * 助け合う心をもつ：困っている人がいたら、そっと手を差し伸べてみましょう。
- * 相手の気持ちを考える：自分がされて嬉しいことを、周りの人にも届けてみましょう。

「おもいやり算」の答えは、計算のように一つではありません。しかし、心と心がつながるとき、そこには無限の可能性が広がります。寒い冬だからこそ、子どもたちの行動一つひとつが、地域や家庭の中にたくさんの「おもいやりの花」を咲かせ、心温まる春を迎えられることを願っています。今後とも、子どもたちへの変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



後期学校評価アンケート

本校では、児童一人ひとりが安心して学び、自己のよさを発揮できる学校づくりを目指し、教育活動の充実に努めています。その一環として、学校評価アンケートを実施いたしました。今回の調査では、児童の学校生活に対する思いや学習習慣の状況、また保護者の皆様に教育活動やお子さんの実態に関するアンケートをとり、学校全体の成果と課題を整理いたしました。保護者アンケート、児童アンケート結果とその分析結果と今後の改善策についてご報告いたします。



1 後期児童アンケート分析結果 成果

児童アンケート結果

良好な友人関係

「友達と話したり遊んだりするのが楽しい」という項目で、96.7%が「楽しい」と回答。

高い道德意識

「いじめは絶対にいけない」と考える児童が96.2%おり、高い意識を持っている。

家庭学習の定着

「家での学習」について、肯定的な回答した児童が94.5%と、児童の半数が自信を持って取り組んでいる傾向にある。

課題

ゲーム時間の管理

「ゲームの時間を決めて守っている」という項目で、守れていない児童が23.3%。

相談しやすい
環境づくり

「先生に相談できる」という項目で「できる」と回答した児童は13.3%と低く、「できない」と否定的な回答をした児童は56.6%。

読書習慣の不足

「読書をよくしている」に対して、「していない」と回答した児童が23.3%おり、本に親しむ機会が少ない傾向にある。

2 児童アンケート前期・後期比較 成長：成果

学校への愛着

「学校へ行くのが楽しい」が7.4%アップ（肯定的回答75.1%→82.5%）し、学校生活への満足度が高まっている。

主体性
自己肯定感の安定

「自分で考え決めて行動している」も5.9%アップ（85.9%→91.8%）しており、自立心の高まりが見られ「自分にはよいところがある」という自己評価についても、前期（77.8%）から後期80.0%と肯定的な回答がアップしている。

浮き彫りになった弱み：課題

教師への相談

前期から3.6%ダウン（70.3%→66.7%）しており、学年が進むにつれて先生に悩みを打ち明けていく傾向が見られ、悩みを一人で抱え込んでいる可能性がある。

ルールの遵守

「きまりやルールを守る」も1.7%ダウン（97.8%→96.2%）している。

3 改善策

信頼関係の再構築
（相談しやすい環境
づくり）

先生への相談率が低下していることを重く受け止め、子ども一人ひとりと向き合う時間を意識的に確保する。定期的な教育相談（面談など）の実施や、アンケートを実施し、「いつでも先生が味方である」という安心感を醸成する。

生活リズムの再確認

読書（後期54.1%）やゲームの時間（後期74.3%）は、前期よりは微増しているものの依然として低いため、家庭と連携して生活リズムを整える啓発活動を行う。

今回の結果は、「根を張り、茎を伸ばしている植物」に例えられます。学習習慣や友人関係という「茎」は力強く伸びていますが、教師への相談や読書といった「水や肥料」が少し足りなくなっている状態です。周りの大人が適切なタイミングで声をかけ、サポートしていくことで、さらに大きな花を咲かせることができると考えられます。



保護者アンケート結果

1 後期保護者アンケート分析結果 成果

肯定感と学校生活の充実

「お子さんにはよいところがたくさんある」については100.0%の保護者が肯定しており、「友達と楽しんでいる」も96.0%となり肯定的に捉えている。

学校の情報発信と安心感

「おたよりやHP等での情報把握」は99.3%、「いじめや不登校への適切な対応」は96.0%となっており、学校の取り組みへの理解と信頼をいただいている。

基本的な生活習慣

「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣は94.7%が肯定的。

課題

読書習慣の不足

「本に親しんでいる」（肯定的）は41.7%に留まり全項目の中で最も低い結果となった。

生活・運動習慣の乱れ

「1日のゲームの時間を守っている」および「体力づくりに取り組んでいる」は共に57.6%となっており、放課後や休日の過ごし方に課題が見られる。

2 保護者アンケート前期・後期比較 成長：成果

礼儀と自立

「元気なあいさつやへんじ」が+13.5%「自分で考え行動する」が+12.5%と向上傾向。

学力の定着

「基礎的な学力の定着」（肯定的回答）+13.3%と、学習指導の成果が表れている。

浮き彫りになった弱み：課題

相談できる環境

「相談できる環境」が-5.2%減少しており、91.4%と高い数値ではあるものの注意が必要。学校とのコミュニケーションに不安を感じる保護者が増えた可能性を示唆している。

ゲーム時間の管理

ゲーム時間の管理が難しい傾向。家庭内での守れるルールづくりの構築が課題。

3 改善策

コミュニケーションの再構築

「相談環境」を改善するため、改めて相談窓口を周知し、HPやマチコミ以外にも、より個別の様子が伝わる発信方法を検討する。

生活・学習リズムの立て直し

生活習慣や学習意欲に対し、学校での声掛けを強めるとともに、家庭での取り組みを励ますようなメッセージ（成果の可視化など）を発信する。

保護者の結果を植物の成長に例えるなら、「学校（庭）からの情報提供や、子供への愛情（水やり）」は十分に行き届いており、いじめ対応などの安心な環境（日当たり）も改善されています。

しかし、読書やルール遵守という『根を張る作業』が少し弱くなっているため、今後は家庭と学校が協力して、しっかりと根を育てる時期に来ていると言えます。今後も家庭と学校で連携して、子どもたちの健やかな成長を育みましょう。

子どもたちは、「学校という安心できる環境の中で、自分に自信を持ち、学習や自立の面で大きく伸びてきている状態」です。しかし、その成長を支える「体力の維持」や「読書・メディア利用の自己コントロール」という家庭・学校共通の土台作りには、まだ伸び代があります。

この状況は、「美しい花々が庭に咲き誇っているが、冬を越してさらに大きく育つためには、土壌（生活習慣や体力）にさらなる肥料と手入れが必要な季節」と言えるかもしれません。

次年度に向けて、これらの課題に重点的に取り組んでまいります。今後も学校へのご理解とご協力よろしくお願いたします。

輝く個性の『茎』を支える

家庭と学校で耕す確かな土壌

日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。「後期学校評価アンケート」へのご回答をありがとうございました。

今回の結果を一つの「植物の成長」に例えて振り返ってみると、子どもたちの今の姿がいきいきと浮かび上がってきました。皆様と共に、今の「庭（学校）」の状態を共有したいと思います

01 太陽に向かって伸びる「力強い茎」と「つぼみ」

今、本校の子どもたちは、青空に向かって真っすくな「茎」を伸ばし、輝かしい「つぼみ」を膨らませています。

- 良好な友だち関係（96.7%）や、元気な挨拶（94.1%）は、まさに太陽を浴びてぐんぐん伸びる力強い茎そのものです。
- 「自分で考え、決めて行動する」91.8%へと大きく成長しました。
- また、学力の定着（+13.3%）や道徳意識の向上など、「基礎」という土台の上に、美しい花を咲かせる準備が着実に整っています

さらに大きく育つための「根っこ」の踏ん張り 02

一方で、冬を越え、さらに大きな大輪を咲かせるためには、地面の下にある「根っこ」をより深く、強く張る必要があります。今回の調査では、その「根」の部分に少し課題も見えてきました。

- 読書習慣やルールへの遵守といった、じっくりと自分を支える「根を張る作業」が、今はまだ少し細い状態です。特に読書に親しんでいる割合（41.7%）は、全項目の中で最も低い結果となりました。
- ゲームの時間管理（守れていない児童23.3%）についても、自分を律する強い根を育てるために、ご家庭での「ルール」という名の「栄養」がもう少し必要かもしれません。

03 ふかふかの「土壌」を共につくる

植物が安心して根を広げるためには、柔らかく温かい「土壌」が欠かせません。

- アンケートでは、学年が進むにつれて「先生に悩みを相談しにくい」と感じる子が増えているという結果（66.7%へ減少）が出ました。
- これは、根っこが硬い土にぶつかって、伸びあぐねている状態かもしれません。私たち教職員は、一人ひとりと向き合う時間を増やし、「いつでも先生が味方だよ」という安心感という名の水をたっぷり注ぎ、土を柔らかく耕していきます。

これからも「二人三脚」で 04

保護者の皆様の100%が「お子さんには良いところがたくさんある」と回答してくださいました。この溢れんばかりの「愛情という名の水やり」こそが、子どもたちにとって一番の成長の源です。学校という庭に、もっともっと豊かな花が咲き誇るよう、「挨拶」や「主体性」といった「茎」をしっかり支えるために、これからも家庭と学校で手を取り合い、「生活リズム」という土壌を整え、子どもたちの「根っこ」を共に育てていきましょう。

今後とも、本校の教育活動への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

寒さに負けず元気いっぱいな子どもたち

1月の足寄小学校の教育活動



2月の行事予定

2月2日(月) 挨拶いっぱい運動
2月4日(水) 不審者対応避難訓練
職員会議
2月12日(木) 職員会議
2月13日(金) 避難訓練
2月19日(木) 授業参観日(1年・2年・5年)

2月20日(金) 授業参観日(3年・4年・6年)
2月25日(水) 職員会議
2月27日(金) 6年生を送る会

